

## 硫黄鳥島の火山活動解説資料（平成 27 年 8 月）

気象庁地震火山部  
火山監視・情報センター  
沖縄気象台地震火山課

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。  
噴火予報（活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

### 活動概況（図 1～3）

7月28日（期間外）に海上保安庁が実施した上空からの観測では、島の北側に位置する硫黄岳火口内では特段の変化は認められませんでした。中央部に位置するグスク火山の北側火口壁からの噴煙は認められませんでした。また、硫黄鳥島東岸に黄緑色の変色水が認められました。この変色水を熱計測装置で計測すると周辺の海水温度より 0.7 高温でした。

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。



図 1 硫黄鳥島の状況（火口南西側から撮影）  
7月28日 10:54 撮影（海上保安庁提供）



図 2 硫黄鳥島 変色水の状況（火口北東側から撮影）  
7月28日 12:07 撮影（海上保安庁提供）

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ（<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。

本資料中の地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『25000分の1地形図』を複製しています（承認番号：平26情複、第658号）。



図3 硫黄島 火口位置と各図の撮影方向